課　　題	長期どりアスパラガスの品種比較試験(1年目)
担 当 者	小林　照世
目　　的	本市の生産推奨品目のひとつであるアスパラガスには、栽培を推奨する品種がなく、農家も、どの品種を栽培するのか判断が難しい状況にある。 そこで、最近販売された新品種を中心に、長期どり向きの品種比較を継続的に行い、当地に適した収量性や品質の高い優良品種を選定する。
供試品種	ウェルカムAT(サカタのタネ)、シャワー(タキイ種苗) PA050(パイオニアエコサイエンス)、PA057(パイオニアエコサイエンス)
試験区構成	1区　ウェルカムAT(サカタのタネ) 2区　シャワー(タキイ種苗) 3区　ハイデル 4区　PA050(パイオニアエコサイエンス) 5区　PA057(パイオニアエコサイエンス)
区制及び株数	1区制　1区 20株
耕種概要	栽培条件　施設 播　　種　2月下旬 定　　植　4月中旬 栽植密度　畝幅150cm×株間30cm　222株/a 施 肥 量　元　肥　堆肥　200kg/a 有機石灰　15kg/a 被覆燐硝安加里エコロング413(140日)　30kg/a 成分量　N4.2－P3.3－K3.9 kg/a 収　　穫　翌年3月
期待される効果	アスパラガスの普及拡大

結果及び考察

1　養生株の生育調査を表1に示した。株幅が一番大きかったのは1区のウエルカムATで、一番小さかったのは4区のPA050であった。茎径が一番太かったのは1区のウエルカムATで、一番細かったのは2区のシャワーであった。草丈が一番高かったのは、3区のハイデルで、一番低かったのは4区のPA050であった。

2　養生株の立茎本数の分布を表2に示した。1区のウエルカムATが50本以上の株が一番多く、2区のシャワーは他の区に比べて30本以下の株が多かった。

以上の結果より、ウエルカム AT が一番養生株が大きかった。シャワーは一番茎径が細く、立茎本数も少なかった。ハイデル、PA050、PA057は、他の2品種と比べると、中間的な大きさであった。養生株の大きさが、収量に影響するのか引き続き調査する。

表１　養生株の生育調査(20 株平均)

	株幅(㎝)	茎径(㎜)	草丈(㎝)
1 区	15.6	13.2	187.9
2 区	13.6	8.2	181.7
3 区	13.8	9.9	189.8
4 区	13.2	9.8	162.7
5 区	15.0	10.2	182.3

表２　養生株の立茎本数の分布　(株数)

	多い	中	少ない
1 区	15	3	2
2 区	1	11	8
3 区	4	16	0
4 区	8	11	1
5 区	9	9	2

多い:50 本以上、中:30～50 本、少ない:30 本以下